

# 高崎JC

- 群馬県 -

## 活発な現役に負けない OB独自の事業を展開

高崎JCは認証番号33番として、1952年9月に群馬ブロック内では2番目のLOMとして誕生しました。今年で58年目となりますが、今までに送り出した卒業生は4百名を超え、特別会員は3百名を超えています。

高崎JCの代表的な事業をひとつご紹介します。終戦後まもなく市民オーケストラとして発足した群馬交響楽団の野外



ダイヤモンドベガサスの勝利に沸くOBメンバー

コンサート「森とオーケストラ」

です。文化によって復興に力を注ぐ市民たちが群響を応援したのは言うまでもなく、JCメンバーは本拠地でもあった為その活動を応援せずにはいられなく、屋外に楽団員を誘い出すことに成功した事業です。今年で第30回を迎えましたが、毎年数千人の観客が来場され、群馬の森の天空のもとオーケストラの演奏を楽しんでいます。途中ではオーケストラを前にタクト

を振ることができるコーナーもあります。興味のある方はぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。また、「ぼくらのサケ」と称してサケの稚魚の放流事業や、2日間で数十万人が訪れる「高崎まつり」もJCが中心となつてすべてを運営しています。

OB会は現在独自に年2回の親睦事業を行なっています。

卒業6年目と12年目のOBが

事業を計画し主催します。昨年はOBが代表を務めるBCリーグ（プロ野球の独立リーグ）の「ダイヤモンドベガサス」の試合を観戦し、試合後、監督やコーチ選手との交流会を行いました。他には現役との交流も兼ねたじゃがいもコンペの実施や、現役の新年会への参加、総会・懇談会、忘年会などが年間行なっている事業です。

今年度は高崎にて群馬ブロック会員大会が予定されており、同時に行なわれるシニアクラブ総会・講演会、懇親会は卒業6年目が企画・運営いたします。講演会では、現在がん治療の最先端の医療技術とされている重粒子線治療の第一人者の群馬大学中野隆史教授をお招きし、「切らずに治す重粒子線がん治療」と題してご講演をいた

だきます。ご興味のある方は是非ご来場ください。（8月29日）

すでにOB会のご子息が入

会あるいはOBになつているような現状でありますから、OB会としては現役の事業活動に支障が出ぬよう会員の紹介などに努めているところでもあります。もちろんOBは現役の事業や活動には一切関与せずOB会独自として活動をしています。現役時代では一緒に活動ができなかった先輩方とも親しく接していただいたりして、改めてJCと言うものの組織は素晴らしいものであると感じています。これからも素晴らしい組織であるJCが現役・OBともに発展していくことを望んでいる所存です。

日本JCシニア・クラブ  
群馬ブロック担当幹事

川鍋 太志



前期優勝を果たしたダイヤモンドベガサス



観戦後の懇親会